

社会福祉学科 主催

Connecting Together Creating Future

レゴ®シリアスプレイ®メソッドと
教材を活用した国際交流ワークショップ



国際交流が初めての方も大歓迎

2.8 土

13:00-15:30

参加費:無料

定員:15名



横浜市国際交流協会 (YOKE)

横浜市西区みなとみらい1-1-1

パシフィコ横浜 国際協カセンター5階



LEGOブロックによる
相互理解を深める手法で
ウクライナ避難民の方々と
国際交流を体験し未来を
一緒に考えてみませんか?



通訳協力: (株)アウトソーシング
オレナ・シェウチェンコさん (写真左)
リドベグ・愛子さん (写真右)

お問い合わせ

noda-nu4@kuhs.ac.jp
(社会福祉学科 野田)

主催: 神奈川県立保健福祉大学 社会福祉学科

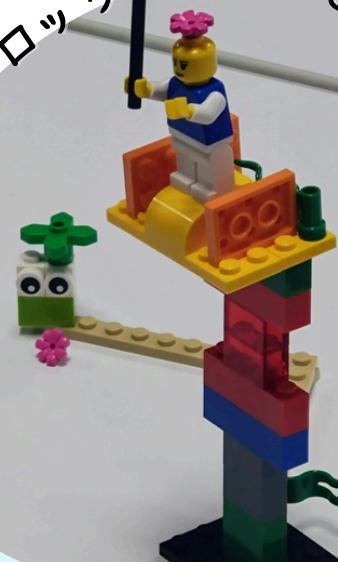
協力: (株)アウトソーシング

(公財)横浜市国際交流協会

神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービスセンター国際協働部門

後援: 神奈川県立地球市民かながわプラザ指定管理者 (公社) 青年海外協力協会

それぞれの考えをブロックで表現してみる



ウクライナ避難民



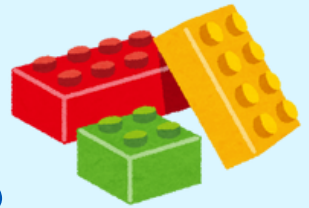
ウクライナに対するロシアの軍事侵攻が始まったのは、2022年2月です。2025年2月は侵攻が始まり3年を経過しようとしています。現在も続いています。

出入国在留管理庁のデータによると、これまで日本に入国したウクライナからの避難民は2731人。うち約2割が現在帰国・出国し1980人が在住しています（2024年11月末 入管庁）。

特に神奈川県には、162人の避難民が在住しています。

現在、政府では生活支援として安定した在留資格の発行や日本語教育や生活ガイダンスなどの定住支援、相談支援が実施されていますが、異文化における生活は多くの課題が生じています。

レゴ®シリアスプレイ®



LEGO® SERIOUS PLAY®は、2001年にレゴ社教育部門のロバート・ラスムセン氏が、MIT（マサチューセッツ工科大学）のパート教授の教育理論をもとに開発した革新的な学習・問題解決ツールです。

従来の会議では、発言力の強い人の意見が通りがちで、多くのメンバーが本音を言えないまま決定が下されることが課題でした。一方、このメソッドでは、レゴブロックを使って各自の考えを形にすることで、年齢や立場に関係なく、全員が対等に参加できます。

参加者は、ブロックで作品を作りながら自分の内なる考えに向き合い、それを他のメンバーと共有します。さらに、お互いの作品を組み合わせていく過程で、個々の視点が融合し、チーム全体の新しい気づきや行動指針が生まれます。論理的な議論だけでなく、感性も活かしたこのアプローチにより、より創造的で効果的な問題解決が可能になります。